



「まにわ」のまちを良くするしくみ
あなたの募金が
「まにわ」の人たちを支えます!



マルナカ北房店(北房)



きたまちマルシェ(久世)

10月1日から全国一斉に「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。「赤い羽根共同募金」は、地域の高齢者や障がいがある人、子どもたちなどに対するさまざまな地域福祉活動を支える「じぶんの町を良くするしくみ」です。

共同募金は、ふれあい・いきいきサロンの助成金、学校で実施される「手話講座」などの福祉学習、子育て支援、生活困窮者への相談支援など福祉活動に活用されるほか、市町村のなかでは解決できない課題などについては、その一部が都道府県の活動に活かされます。

また、募金の3%は災害時のボランティア活動のための準備金として積み立てられており、大きな災害があったときには、全国から寄せられた募金が活用されるしくみです(2ページに関連記事)。

真庭市を良くするため、福祉活動をみんなで支えるために、今年も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします。

一世帯あたり
★共同募金 500円
★歳末たすけあい募金 300円
のご協力をお願いしています。



👉 使いみちを次のページで紹介するよ!



令和6年度 私たちの共同募金のつかいみち



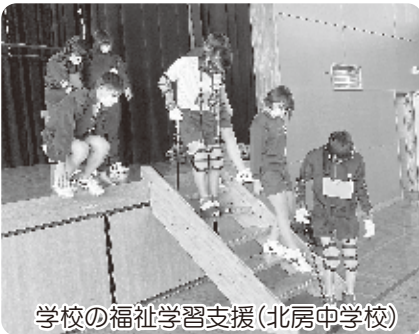
市民のみなさんから寄せられた募金の約6割が、真庭のまちを良くするための住民活動や、社協と地域住民が協力して実施する活動に活用されています。

共同募金事業 4,416,000円(予算額)

ふれあい・いきいきサロン助成	1,672,000円	37.9%
生活困窮者への支援	723,000円	16.4%
住民座談会、研修会、サロンの集いなど	676,000円	15.3%
学校の福祉学習支援	560,000円	12.7%
社協だよりの発行	350,000円	7.9%
ボランティアセンター運営、夏のボランティア体験、ボランティア情報の発信など	254,000円	5.7%
貸出福祉機器の整備	100,000円	2.3%
子育て支援	81,000円	1.8%

歳末たすけあい事業 3,048,000円(予算額)

歳末ふれあい・いきいきサロン助成	1,371,000円	44.9%
歳末友愛訪問(北房・落合・久世)	691,000円	22.7%
歳末配食サービス(勝山・美甘・中和・八束・川上)	447,000円	14.7%
子育て支援事業(北房・久世・八束・川上)	172,000円	5.6%
福祉車両貸出整備	133,000円	4.4%
ボランティア講座	106,000円	3.5%
おでかけ交流事業(湯原)	46,000円	1.5%
サロン支援備品購入(落合)	42,000円	1.4%
コミュニティーカフェみつがしわ(八束)	30,000円	1.0%
外国人の生活ニーズ調査(湯原)	10,000円	0.3%



学校の福祉学習支援(北房中学校)



ふれあい・いきいきサロン助成(三阪サロン 久世)



歳末配食サービス(美甘)



きょうちゃんの「赤い羽根共同募金」のギモン

Q.「共同募金」と「歳末たすけあい募金」はどう違うの？

A.「活用される期間や事業の内容」が違います。

《共同募金》毎年10～12月に募金を募集し、市民の皆さんからいただいた募金の約6割は上記のような福祉活動に、残りの4割は障がい作業所の車両や社会福祉施設の改修など民間で活動する組織の支援に役立てられます。

《歳末助けあい募金》共同募金運動のひとつとして、毎年12月1日～12月31日まで行われる募金運動。福祉の援助や支援を必要とする人が地域で安心して生活できるように、**年末に重点的に行う福祉活動へ活用**されます。

真庭市では年末年始の歳末期に訪問したり、配食をしたりしているんだね！寒い時期だけど、あたたかい気持ちで過ごせそう。



勝山支所 川口専門員

大規模な災害が発生した場合には、都道府県の枠を超えて、募金を出しあって被災地を支援します。

真庭市社協職員も能登災害のボランティアスタッフとして活動！
(派遣期間：R6.9.3～9.9)

皆さまの善意が福祉活動に活かされています

善意銀行だより

〔敬称略・受付順〕

※真庭市社協への個人からの寄付は税額控除対象となります。

寄付金 八月三十一日

合計 五十三万五千元

〔本所〕

池田 和由(久世) 香典返し

亡母 横山 益江 香典返し

池本 泰司(鍋屋) 香典返し

池本 泰司(鍋屋) 忌明け

浅山 雅夫(余野下) 香典返し

吉原 弘(久世) 香典返し

岡田 章(草加部) 香典返し

〔北房支所〕

坂本 末美(五名) 見舞返し

亡相原和之(阿口) 香典返し

大月 良男(上中津井) 忌明け

平城 元(下菅部) 香典返し

志田 勝彦(上水田) 香典返し

岡本 秀子(五名) 見舞返し

〔落合支所〕

山崎 幸子(一色) 香典返し

稲岡 康晴(上河内) 香典返し

稲岡 康晴(上河内) 忌明け

高山 善守(西原) 香典返し

橋本 和史(西河内) 香典返し

橋本 和史(西河内) 忌明け

山本 守(法界寺) 香典返し

牧野 寿(西原) 香典返し

布野 登紀子(赤野) 香典返し

布野 登紀子(赤野) 忌明け

酒井 栄治(日名) 香典返し

〔勝山支所〕

原田 美昭(横部) 香典返し

小模 真種(月田) 忌明け

戸田 聖治(清谷) 香典返し

松尾 直子(月田) 篤志寄付

神谷 浩司(江川) 香典返し

〔湯原支所〕

藤久 剛治(末津) 香典返し

西田 琢二(見明戸) 香典返し

牧田 功士(社) 香典返し

山口 洋子(豊栄) 忌明け

〔八束支所〕

隅田 誠(森山中福田) 香典返し

二若 忠明(森山下福田) 香典返し

神田 尊次(森山下福田) 香典返し

山岡 實(森山上長田) 香典返し

〔川上支所〕

福富英津子(森山上福田) 香典返し

宮本小百合(森山栗塚部) 香典返し

善意銀行へのご寄付をありがとうございました。

ご寄付は社会福祉協議会の各種社会福祉事業へ活用させていただきます。



心配ごと相談所(10月の予定)

※相談無料、予約不要です。

北房(真庭市役所北房振興局)	24日(木)	9時~12時
落合(落合老人福祉センター)	10日(木)	
久世(真庭市役所本庁舎)	16日(水)	
勝山(勝山保健福祉センター)	4日(金)	13時~16時
美甘(真庭市役所美甘振興局)	8日(火)	
湯原(湯原保健福祉センター)	17日(木)	
八束(八束老人福祉センター)	4日(金)	9時~12時

電話(0867)42-1005 FAX(0867)42-2263
※秘密は固く守られます。どちらの相談所でも相談可能です。

第20回 真庭市社会福祉大会

を開催します!

日時 令和6年11月16日(土)

第1部 式典 13:00~

第2部 記念上映 14:00~

会場 勝山文化センター(真庭市勝山319)

記念上映 映画「猫と私と、もう1人のネコ」

女子高生の主人公が、家族間のすれ違いや母の介護と進学への悩みを抱え、心身共に追い詰められていく中で、野良猫を救うことをきっかけに家族や学校以外の社会と関わることで、前向きになれ自分らしさを取り戻していく姿を描いています。



(C)「猫と私と、もう1人のネコ」制作委員会
出演:吉名莉瑠、一青窈、津田寛治 ほか

同時開催

協賛団体による販売・展示 他
※申込不要でどなたでもご入場いただけます。

ライフパントリーのお知らせ

※パントリーは、キッチンの収納スペースの意味です。

【日時】

令和6年10月19日(土)11時~12時

【会場】

八束老人福祉センター(真庭市森山富山根154-1)

経済的な困窮や不安がある世帯への緊急的な一時支援として、食品や衛生用品などの無料配布を行います。

【申込期間】

令和6年10月1日(火)~10月15日(火)

【申込方法】

申込書を最寄りの社協に持参いただくか、メール、FAX、郵送、電話のいずれかで申込みください。申込書は真庭市社協ホームページからダウンロードできます。

*アレルギー対応はしていません。

お問合せ:真庭市社協(まにわささえ愛ネット事務局)

電話:(0867)42-1005 FAX:(0867)42-2263

E-mail:m.shakyo@gmail.com

真庭市社協「共同募金オリジナル資材」展開中!!

下記の寄付額以上の寄付を下された方にお渡しします!



マルチペンスタンドポーチ
寄付額 ¥1,000 以上



ボールペン
寄付額 ¥300 以上



マスクングテープ 寄付額 ¥500 以上

詳しくは、社協本所・各支所へお問合せください!

隣山支所通信

富原地域子ども居場所づくり事業 「サマースポット」開催!

初開催

8月5日(月)に富原小学校で、富原小学区の小学生を対象に、長期休暇中の居場所づくり「サマースポット」を開催し、19名の参加がありました。この事業は、富原地区高齢者福祉のむらづくり推進委員会地区社協、富原福祉のむらづくりボランティアグループ、富原児童クラブお茶っこ、富原小学校の協力で実現しました。

午前中は、夏休みの宿題や各自で用意した勉強に取り組みました。その後は、ボランティアで参加いただいた山本肇氏を講師に招き、老若男女、誰でも楽しむことができるスポーツ「ボッチャ」を体験しました。当日はとても暑かったですが、適



真剣に勉強に取り組みました



昔遊びに挑戦!



昼食は、地域のボランティアが手作りの、具だくさんの「そうめん」と「フルーツポンチ」!

宜水分をとりながら、低学年・高学年関係なく、夢中でプレーを楽しんでいました。午後からは、地域のボランティアに昔遊びを教してもらい、百人一首やコマ回し、けん玉などで地域の方との交流を楽しみました。子どもたちからは、「みんなと楽しく遊べてよかった」「地域の人と昔遊びができて楽しかった」や「来年はボランティアとして参加したい」「またやりたい」との声もあり、良い体験になったと思います。来年度も地域の方と協力しながら、実施に向けて進めていきたいと思えます。

真庭市社協と地区社協の連携を学ぶ

実習生レポート

私たちは8月16日から約1か月間、真庭市社会福祉協議会で実習を行いました。その間、草加部地区(久世)に滞在し、ふれあいいきいきサロンや地区社会福祉協議会(地区社協)の助けあい会議に参加しました。

実習期間中、草加部の6カ所のサロンに参加しました。参加者からは「お話しするのが楽しい」「認知症予防になっている」という声がありました。その一方で、サロン立ち上げ時からメンバーが変わらない・固定化しているという現状を知りました。

そこで、サロンの新規参加者を増やすために『参加を呼びかけるチラシを作り、配布する』という提案を地区社協の会議で行い、実施しました。

助けあい会議では、地区社協の方から地域の課題や見守りについての話を伺うことで、地域で安心して暮らせるまちづくりにつながっていると学びました。

実習を通して学んだことを、今後に生かしていきたいです。活動に協力してください。地域の皆さん、本当にありがとうございました。



見守りの状況を社協職員と共有することで、対応が迅速に! 安心につながると感じました。

助けあい会議で発表

草加部地域の高齢者の中で、サロンに参加している人が少ないことが分かりました。

川崎医療福祉大学 医療福祉学科3年

はらだ まみ 真実さん
地域住民と信頼関係を結ぶためには、困った時に相談できる土台を作ること、そして話を受け止める姿勢が大切だと学びました。

よしだ めい 吉田 芽衣さん
地域をより良くしていくために、住民から話を聞くことや他機関との連携を大切にしていると理解しました。

広報担当のつばやき 10月から「赤い羽根共同募金運動」が始まりました。コロナが落ち着いたので、真庭市社協のイメージキャラクター「きょうちゃん」と各地のイベントに行きたいと思えます。(井上)



真庭市社協HP

発行所: 社会福祉法人 真庭市社会福祉協議会 〒719-3201 真庭市久世2928 Tel 0867-42-1005 Fax 0867-42-2263
http://www.maniwa-shakyo.or.jp E-mail: m.shakyo@gmail.com

2024.10.1 NO.234